琉球大・野原千代さん講演会
福島原発事故による放射能の影響
～ヤマトシジミ（蝶）に及ぼす生物学的影響～

３．11福島第一原発事故は、生物にどんな影響を与えたのでしょうか？

野原千代さん（琉球大学理工学研究科生物系大瀧研究室）が、ヤマトシジミの研究から明らかにされた「生物に及ぼす放射能の影響」についての講演会が、その疑問に答えます。

野原さんは宇部市のご出身で、その研究成果は科学誌ネイチャー『Scientific Reports』に紹介され、さらに昨年11月には、パリとジュネーブで講演され、世界の注目を浴びています。しかし、残念なことに、日本では、これまで大きく紹介されていません。

放射能に汚染された草を食べて育ったヤマトシジミと非汚染地域（例えば、宇部市）の食草のものを比較する実験・解析から、放射性物質の摂取量が少量の場合であっても生物学的影響が検出されたことを明らかにされました。低線量内部被曝は、ヤマトシジミから子供、生物の命につながる重大な問題です。

皆さんぜひ、ご参加下さるようご案内致します。

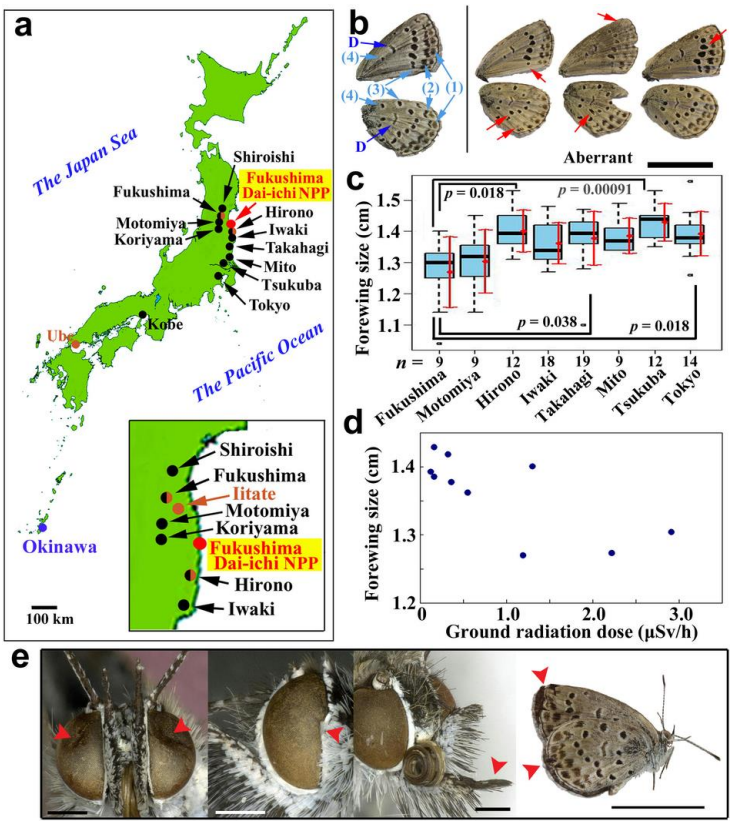
記

とき：　２０１５年１月２８日（水）
午後６時半～８時半
ところ：宇部市勤労青少年会館　集会堂
宇部市松山町一丁目 12 番 1 号
TEL　0836-31-5515
参加費：200 円

主催：いのち・未来 うべ
http://blog.goo.ne.jp/nonukes2013
共催：NPO 法人うべ環境コミュニティ
http://www.ubekankyo.com/
連絡先：080-6331-0960
（いのち・未来うべ　安藤）

（野原千代さん）

WEB 参考　琉球大学大瀧研究室
http://w3.u-ryukyu.ac.jp/bcphunit/fukushimaproj.html



Scientific Reports 2, Article number 570